

令和6年度 さいたま市立針ヶ谷小学校 第1回学校運営協議会議事録

場 所	針ヶ谷小学校 会議室
日 時	令和6年6月18日(火) 午前10時30分～11時50分
出席者	<p>学校運営協議会委員 15名</p> <p>青少年育成針ヶ谷小地区会長、育成会副会長、私立ひかり幼稚園長、領家7丁目自治会長、主任児童委員、針ヶ谷保育園長、大原中学校長、針ヶ谷小 PTA 3名(会長、副会長2名)、針ヶ谷小学校5名(校長、教頭、教務主任、学校地域連携コーディネーター、事務職員)</p> <p>他3名 針ヶ谷小学校(生徒指導主任、5年学年主任、スクールソーシャルワーカー)</p> <p style="text-align: right;">合計 18名出席</p>
議 事 録	
<p>1 開会の言葉</p> <p>・教頭</p> <p>2 あいさつ</p> <p>・校長</p> <p>3 学校運営協議会委員委嘱</p> <p>4 委員自己紹介</p> <p>・委員長選出</p> <p>5 学校運営に関する基本的な方針について</p> <p>・校長</p>	<p>・学校運営協議会の実施は3年目となる。今年度はさらに機動力を高めるために拡充し、多くの方に出席いただいた。</p> <p>・子ども達を中心とした地域・学校運営をしたいのでご意見をいただきたい。地域の中の学校をどのようにつくっていくか、教員も熱心に取り組んでいるところである。</p> <p>○昨年度から継続して、橋本委員長に決定。</p> <p>・今年度も継続して取り組むこと、新規で取り組むことについて、学校評価システムシートを用いて説明する。</p> <p>○令和5年度の取組についての説明</p> <p>①学力向上、②安心・安全、③開かれた学校、④教職員の資質向上</p> <p>○令和6年度の取組についての説明</p> <p>・1つめの柱は、主体的な学びである。主体性を伸ばす授業づくりを教員に推奨・指導し、タブレットの有効的な活用方法を試行錯誤しているところである。理解度の異なる全ての児童が、意欲をもって主体的に学習できる授業づくりをしていく必要がある。</p> <p>・2つめの柱は、安心・安全である。想定を超える災害が起り得る状況において、様々な防災教育が必要である。安全主任を中心に、見直し・改善を図っている。</p> <p>・3つめの柱は、地域とともにある学校である。学校が地域へ出ていく視点と、地域の方を学校へ取り込む視点で取り組む。PTA や育成会との連携を図る。</p> <p>・4つめの柱は、教職員の資質向上である。授業者として、人としての資質向上、心身の健康に配慮している。また、時代に求められている「新しい考え方・働き方」について教員一人ひとりの意識改革が必要であると考えている。それと同時に勤務時間外在校時間が月 45 時間、年間 360 時間を超えないようにしていきたい。</p> <p>○学校経営上の課題点についての説明</p> <p>・情報モラル教育を低学年のうちから積み重ねる必要がある。先日、スマホ・タ</p>

	<p>ブレット安全教室の授業を実施し、4～6年生児童だけでなく、保護者・地域を招いて行った。家庭でのルールづくりの協力も得ていきたい。また、「教え方改革」に対する教師の意識改革も進めていく必要を感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフレッシュ工事でよりよい児童の学習環境を整えていく。また、工事に関わる騒音や安全管理の配慮をしていく。 ・防犯教育・研修も進めていく。子ども達に防犯ヘルメットを持たせるか検討・計画していきたいと考えている。 ・安心・安全は心の面も大切。教室へ入れない児童への対策をしている。Solaルーム（居場所となる教室）を設置している。今後よりよい運営ができるように人員を確保するなど、検討していく。 ・保護者との連携を大切にしているが、教員の勤務時間内での対応時間の確保が大変難しい。より一層の業務改善が必要と考える。（会議時間、休憩時間、面談時間が課題） ・防犯・いじめ・いたずら等の対応のため、校舎内の防犯カメラの設置等を検討していく。
<p>6 リフレッシュ 工事進捗報告 ・教頭</p>	<p>○リフレッシュ工事についての説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6年7月下旬に仮設置し、8月から旧A棟校舎の解体工事を開始する。 ・R7年9月から渡廊下の解体を開始し、R8年1月に南門復旧の予定である。 ・7月からの工事に伴い、校舎敷地内の児童の動線が変更される。児童は校舎北側を通過して登下校をするため、近隣住民に周知してご理解をいただく。
<p>7 学校運営及び 取組実践につ いて【熟議】</p>	<p>○3グループに分かれて熟議を行う。テーマ【あいさつができる子を育てる】</p> <p>①班 大人と子どものキャッチボールが大切。大人が模範となることが大切。学校の中と外での子ども挨拶の量が違うが、いたしかたない。学校と地域がさらにコミュニケーションを深めていく必要がある。</p> <p>②班 まずは大人から挨拶をする。挨拶のよさや意義を児童が感じるようにする。違う立場（異学年・中学生）からの関わりを大切にする。地域や学校の中で知り合いを増やして自然と挨拶を交わせるようにする。児童たちによる主体的な取組（あいさつ運動・児童会キャンペーン）を推進する。</p> <p>③班 地域の中では子ども達の挨拶が少ない。児童はあいさつをする場や相手の判断が難しいのではないか？大人から声をかけることで示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶は大事なコミュニケーションの1つである。 ・子どもに求めるよりも、まず先に大人が模範となり示していく必要がある。 ・学校や地域での働きかけに限らず、家庭での挨拶の励行も啓発していきたい。
<p>8 その他</p>	<p>○学校予算についての説明（本校事務職員）</p> <p>昨年度は桜の木の伐採や剪定を行った。今年度はプール周辺の環境を整えた。</p> <p>○PTAからの寄付についての質問（育成会会長）</p> <p>寄付の場合は申請書類がある。基本的には公立学校なので市の予算で運営している。</p>

<p>9 閉会の言葉 ・会長</p>	<p>○ヒヤリハット MAP について (PTA 副会長)</p> <p>MAP は 3 年に 1 度見直しをしており、今年度は針ヶ谷小の番である。地域の中で危険箇所等が見つかった場合は 1 2 月までにご指摘いただきたい。大原陸橋下交差点付近の車道が狭く、歩行していると危険だと感じる。</p> <p><教頭から></p> <p>運営協議会は年 3 回しかないので、その他の日にも是非学校へお越しいただき、児童の様子をご覧いただきたい。</p> <p><会長から></p> <p>予算についての協議も大事なこと。また、話し合いを行う中で、最善を見出したり、理解したりしていくことが大切。子どもたちのために何ができるかを考えていきたい。</p>
------------------------	--